

## 平成 30 年度 海辺の森管理業務実績報告書

項 目	計 画 内 容	実 施 内 容
経営理念・経営方針	<p>○ “すべての利用者に公平, 平等な利用を提供し、幼児からお年寄りまで沢山の人が安全, 安心して楽しめる施設” を目指します。</p> <p>○ “人々の活動を支える安全, 安心の充実” “地域住民との協働” による交流促進, “海辺の森の魅力の発掘と強化” “市民の誇りとする特性の育成” “海辺の森の歴史と文化の掘り起しでのアイデンティティ(ふるさとの帰属性)の育成” を経営方針とし「海辺の森 憲章」を提唱します。</p>	<p>○ 概ね経営方針に沿った活動を展開できました。</p> <p>○ 海辺の森わんぱくの森管理棟で、地域住民と協働してコミュニティビジネスを継続推進できました。</p> <p>○ 「手ぶら BBQ サイト」を継続実施することができました。</p> <p>○ 海辺の森(わんぱくの森、キャンプ場周辺)に広葉樹や松苗の植樹を年間 4 回あたり実施し、森の保全美化に努めました。</p>
指定管理者申請の動機	<p>風光明媚な日本海を背景に、豊かな緑の自然の中で“見る”“聴く”“体験する”をテーマに、ロマンにあふれ人々が交流できる海辺の森にしたいと考えています。</p> <p>海辺の森を訪れた人々に“来る人に感動を、去る人に幸せを！”フレーズとした森づくりを目指して、新潟市民が誇れる「来たくなる、又、来たくなる」第 1 級の観光地にしたいと思い指定管理者に応募しました。</p>	<p>引き続き、初心の動機を忘れずに活動しました。</p> <p>風光明媚な日本海を背景に、豊かな緑の自然の中で“見る”“聴く”“体験する”をテーマに、ロマンにあふれ人々が交流できる海辺の森にしたいと考えています。</p> <p>海辺の森を訪れた人々に“来る人に感動を、去る人に幸せを！”フレーズとした森づくりを目指して、新潟市民が誇れる「来たくなる、又、来たくなる」第 1 級の観光地にしたいと思い指定管理者に応募しました。</p>
指定管理業務に係る事業計画  ・ 運営方針         ・ 利用者数、 使用料収入見込 ほか	<p>私たちは本施設の運営に対し、「海辺の森憲章」の思いに沿って施設の育みを支えるスキル体制の中で確保し、常に応急の維持管理運営に対応できる体制を維持します。</p> <p>○ 地元雇用スタッフと現場知を活用</p> <p>○ 運営の工夫と交渉力で課題対応</p> <p>○ 森の緑の輝きを增强する力</p> <p>○ 総合リサイクルのアイデア充実</p> <p>○ 活動環境を設計する力</p> <p>○ キャンプ場予約状況の HP 公開</p> <p>○ 平日利用の県内外企業団体への積極的 PR、営業による利用者数, 使用料の増加を目指します。</p> <p>○ 地域と連携したコミュニティビジネスの場づくりにより、利用者数増加を目指します。</p> <p>目標値：利用者数 7,500 人以上、使用料 3,300,000 円以上</p>	<p>風雪災害では、倒木等の伐採を、また、管理道路(わんぱくの森付近管理道路)の土砂上げを速やかに実施しました。</p> <p>新しい試みとして工事担当職員を採用。修繕工事などの内製化に努め、除草班の有効活用、経費の削減に努めました。</p> <p>平日稼働率を上げる取り組みについては、ほとんど実施できませんでしたが、手ぶら BBQ が広く知名度を上げることができれば企業等の平日利用の増加が見込めるものと推察いたします。</p> <p>また、地域と連携したコミュニティビジネスは広がりを見せ地域に根付き始めてきました。</p> <p>実測値：利用者数では 6,615 人と目標を下回りましたが、使用料</p>

		<p>では 3,336,150 円と目標金額を上回ることができました。利用者数の減少は、夏場の酷暑が原因とであると推察します。</p>
<p>維持管理業務に係る計画</p>	<p>“安全を最優先とした施設の維持管理業務”を重点的にを行います。</p> <p>○施設保安活動 耐用年数を超えても、修繕可能な施設はマルチ管理スタッフと共に、地元専門業者を活用し迅速に対処します。</p> <p>○施設機能管理 施設設備機能は安全性を十分に考慮し、利用者に影響がでないよう、マルチ管理スタッフと共に地元専門業者に委託し迅速に対処します。</p> <p>○清掃 ・「海辺の森」の利用者の皆様に、快適な緑の森の森林空間の提供に努めます。 ・除草：伐採 エリア毎に除草、伐採計画を策定し、通常の除草伐採班と別機動隊（ウエルロガー）による林床整備有償ボランティア活動の実施。 ・環境衛生管理 東屋等建築施設の高圧洗浄機による、ハチの巣、毛虫、クモの巣等の除去。計画的なゴミ分別、運搬処理。</p>	<p>“安全を最優先とした施設の維持管理業務”を重点的にを行います。</p> <p>○施設保安活動 修繕可能な施設はマルチ管理スタッフが、迅速に対処しました。また、台風等の対応として予約客への早期の運営休止決定をしました。</p> <p>○施設機能管理 施設設備機能は安全性を十分に考慮し、利用者に影響がでないよう、マルチ管理スタッフと共に地元専門業者に委託し迅速に対処しました。</p> <p>○清掃 ・利用者の視点に立った清掃はもとより、地域の障害者施設との連携で働く場の提供や障害者のスキルアップも図る取り組みを実施しました。 ・外部に依存しない体制づくりとして除草班のマルチスタッフ化の加速を図りました。</p>
<p>自主事業の事業計画</p>	<p>1. 利用者の利便性を図るため自主事業 (1) 物品の販売 南浜漁協, 地元農家, 地元商店街, 観光協会とタイアップした地元野菜の販売。83,400 円/年 マルチ管理スタッフによる、ニセアカシアの伐採管理の薪販売。300 円×1,000 束=300,000 円/年 など合計では 444,200 円を見込む（詳細別紙収支計画積算内訳）</p>	<p>1. 利用者の利便性を図るため自主事業 (1) 物品の販売 地元との協働での販売物品販売はできませんでした。しかし、マルチ管理スタッフによる、ニセアカシア伐採管理の薪販売実施したことで、例年のように購入することではなく、内製化できた。薪は 171000 円/年となり、合計では 318,250 円の売上で目標には及びませんでした。</p>

自主事業の事業計画

(2) バーベキュー用品, 自転車, 変形自転車等園内移動ツールのレンタル  
海辺の森キャンプ場についての施設利用者の利便性向上に対応した園内移動ツールのレンタルを行います。海辺の森再整備と併せ、セグウェイ等の園内移動ツールの検討を行っていきます。

- ・バーベキュー用品  
(コンロ・チェアー・ランタン・シチリン) シュラフ
- ・自転車 (大人用・子供用) 大人用 100 円/日×3 台  
子供用 100 円/日×2 台

・収入見込→ 293,000 円

(3) CB 商品 コミュニティビジネスで作った商品の販売

(4) 手ぶら BBQ 売上目標 400 セット 4,000,000 円

(詳細別紙収支計画 積算内訳)

2 利用者の増加を図るための自主事業

(1) 緑の里親プロジェクト 海岸林里親フィールドを整備。ネーミングプレートを園内の大型掲示板, H P 掲載。苗木 200 本を目標に植樹。

収入見込→500,000 円

(2) 元号改元記念植樹会

海辺の森キャンプ場リピーター確保、海岸林の緑の啓発, 緑化推進を図るため個人参加者 1000 円 500 人、企業参加 1 万円 30 社を募る。収入見込み 800,000 円

(3) 市民植樹会 手ぶら BBQ サイト脇に苗木 200 本を植樹

収入見込→100,000 円

(4) カブトムシの森づくり

わんぱくの森に広葉樹を植樹。収入見込み 50,000 円

(5) 水土子供プロジェクト 30,000 円

わんぱくの森管理棟にて子供たちのクラフト体験

(6) CB 協働事業 100,000 円

コミュニティビジネス事業の一環として、ミニ盆栽づく

(2) バーベキュー用品, 自転車, 変形自転車等園内移動ツールのレンタル

セグウェイ等の園内移動ツールの検討はできませんでした。次年度以降に再検討をします。

- ・バーベキュー用品  
(コンロ・チェアー・ランタン・シチリン) シュラフ
- ・自転車 (大人用・子供用) は、
- ・収入合計 186,400 円は、見込みを下回りました。

(3) CB 商品は一部の事業で購入をしました。

(4) 手ぶら BBQ の売上は、昨年の 80 万円台から後退してしまいました。その背景には、猛暑の自然環境も大きく作用したものと考えられます。

2 利用者の増加を図るための自主事業

(1) 開園 20 周年記念植樹会 手ぶら BBQ サイト脇にクロマツ、300 本の植樹を実施しました。三菱瓦斯化学との共同で UX エコプロジェクトへも参加しました。

(2) 宝くじ松植樹事業 日本緑化センターより 120,960 円の支援を受け、抵抗性松 400 本を植樹しました。

(3) 市民植樹会 手ぶら BBQ 脇に松苗木 300 本植樹。

(4) カブトムシの森づくり 新潟地域緑花推進協議会より 500,000 円の支援を受け、松浜ワイルドキャッツの子供たち 20 人で広葉樹 50 本を植樹しました。

(5) 水土子供プロジェクト 小学低学年から高学年までの 20 名以上の子供たちが、わんぱくの森管理棟で工作を楽しみました。

(6) CB 協働事業 指定管理事業からは除外対応としました。

	<p>り体験、ウッドコースター体験、ミニ門松体験などの事業を開催する。</p> <p>(7) 海辺の森アームレスリング大会 50,000 円 地域交流事業としてアームレスリング大会を開催します。50 人 (内訳男性 38 人・女性 6 人・大学生 6 人) ★参加入場料 1000 円 (詳細別紙収支計画 積算内訳)</p>	<p>(7) 海辺の森アームレスリング大会 諸般の事情により開催できませんでした。</p>
<p>支出計画</p>	<p>○指定管理者 人件費 12,230,000 円 管理費 5,810,000 円 事務費 1,960,000 円 合計 20,000,000 円</p> <p>○自主事業 1. 利用者の利便性を図るための自主事業 3,215,400 円 2. 利用者の増加を図るための自主事業 1,489,000 円 諸経費 1,732,800 円 合計 6,437,200 円 支出合計 26,437,200 円</p>	<p>支出については、別紙「新潟市海辺の森収支報告書」を参照してください。</p>
<p>組織・人員体制</p>	<p>○組織 森の会本部と現場勤務は、その専門性で業務を分配します。管理運営の現場スタッフと業務本部となる森の会は、総務、経理業務を担当し、企画は自主事業推進室が担当し、NPO 法人森の会理事で構成される。 経営会議で経営全般、指定管理者として業務が適正に履行できているかを確認する履行経営会議を兼ねます。</p> <p>○人員体制 総括管理責任者（施設管理所長）を配し、施設管理主任を中心に、マルチ管理スタッフ（主任含む）4 名（シフト制）、事務職 1 名が常駐で管理運営を行います。 森の会本部では、総務、企画を担当し非常勤的に運営を支援していきます。 ・総括責任者（施設管理所長） 1 名</p>	<p>○組織 森の会本部にて総務・経理業務を行いました。海辺の森運営スタッフとは月一回のスタッフ代表者会議で意思の疎通を図りました。 経営会議は、概ね 2 か月に 1 回のペースで開催し、事業の履行進捗状況を共有し、改善を試みました。</p> <p>○人員体制 年度内に、70 代後半と 80 代の運営管理スタッフ退職を機に、新人 2 名を採用を決定しました。 統括責任者（施設管理所長）を配し、施設管理主任を中心に、マルチ管理スタッフ（主任含む）5 名（シフト制）、事務職 1 名が常駐で管理運営を行いました。 ・総括責任者（施設管理所長） 1 名</p>

(4 人シフトで  
毎日 2 人以上勤務確保)

(4 人シフトで  
毎日 2 人以上勤務確保)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチ管理スタッフ主任 1名</li> <li>・マルチ管理スタッフ 2人</li> <li>・事務職 1名</li> <li>・宿直員 5人 (5人シフトで宿泊利用日2勤務確保)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチ管理スタッフ主任 1名</li> <li>・マルチ管理スタッフ 2人</li> <li>・事務職 1名</li> <li>・宿直員 5人 (5人シフトで宿泊利用日2勤務確保)</li> </ul>
雇用・労働条件	<p>○施設の育みを支えるスキル体制の雇用。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元雇用スタッフの現場知を活用。</li> <li>・運営の工夫と交渉力で課題対応。</li> <li>・森の輝きを增强する力。</li> </ul> <p>○マルチ管理スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・40時間 8hr ※5日/週体制で3人シフト制</li> </ul> <p>○宿直員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30時間 15hr ※2日/週体制で5人シフト</li> </ul> <p>○本部スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間 8hr ※3日/週体制非常勤</li> </ul>	<p>雇用・労働条件については、高齢者がほとんどであり、無理のない勤務状況を徹底しました。</p> <p>○施設の育みを支えるスキル体制の雇用。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元雇用スタッフの現場知を活用。</li> <li>・運営の工夫と交渉力で課題対応。</li> <li>・森の輝きを增强する力。</li> </ul> <p>○マルチ管理スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・40時間 8hr ※5日/週体制で3人シフト制</li> </ul> <p>○宿直員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30時間 15hr ※2日/週体制で5人シフト</li> </ul> <p>○本部スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間 8hr ※3日/週体制非常勤</li> </ul>

安全確保及び緊急時の対応

海辺の森 災害・危機管理マニュアル作成済み  
避難訓練

プログラム名	内容	対象	頻度・講師	能力向上対策
安全教育 (ミーティング)	作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育	管理・作業スタッフ	1回/日 内部講師	園内安全対策の強化
こども110番の家 教育	インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法	管理・作業スタッフ	1回/年 内部講師	緊急時対応金運
介護サービス研修	体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育	管理・作業スタッフ	1回/年 外部講師	介助訓練
救急救命訓練	救急手当の講習 (心臓蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波)	未講習者 未更新講習者	1回/年 消防署	救急救命訓練
防災訓練/ 消防設備保守点検	防災の訓練 (通報・消火・避難訓練) 消火器等の点検	管理・作業スタッフ	2回/年 消防署	緊急時対応訓練及び保守点検

海辺の森 災害・危機管理マニュアルに基づく避難訓練を実施しました。また、命の緊急性を要する AED 講習については消防署講師を招き 1 回実施。南浜コミュニティ主催の AED 講習にも 10 名を超えるスタッフが再度参加しました。

台風による災害防止徹底のため、台風上陸予報が発令された場合に、速やかに休業措置を徹底し、早期に顧客への告知をする仕組み・体制とした。

プログラム名	内容	対象	頻度・講師	能力向上対策
安全教育 (ミーティング)	作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育	管理・作業スタッフ	1回/日 内部講師	園内安全対策の強化
こども110番の家 教育	インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法	管理・作業スタッフ	1回/年 内部講師	緊急時対応金運
介護サービス研修	体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育	管理・作業スタッフ	1回/年 外部講師	介助訓練
救急救命訓練	救急手当の講習 (心臓蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波)	未講習者 未更新講習者	1回/年 消防署	救急救命訓練
防災訓練/ 消防設備保守点検	防災の訓練 (通報・消火・避難訓練) 消火器等の点検	管理・作業スタッフ	2回/年 消防署	緊急時対応訓練及び保守点検

要望・苦情への対応

作成済みの接客マニュアルにより適切に対処、記録に残し再発を防止

接客マニュアルにより適切に対処、記録に残し再発を防止に努めました。  
統括管理責任者や森の会役員と協議し、速やかにクレーム対応にあたった。

個人情報の取扱

安心して施設を利用していただくため、個人情報に関して関連法令・条例を遵守します。

個人情報に関して関連法令・条例を遵守するよう朝礼で意識づけを行いました。

ポイント	具体的な方策
紙データの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の記載された裏紙の使用禁止。</li> <li>保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。</li> <li>無計画な複製をしない。</li> </ul>

ポイント	具体的な方策
紙データの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の記載された裏紙の使用禁止。</li> <li>保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。</li> <li>無計画な複製をしない。</li> </ul>

	<p>電子データの管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスワードによる厳格な運用管理。</li> <li>・業務用パソコン,外付けメモリの外部持出しの禁止。</li> <li>・個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。</li> <li>・システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。</li> </ul>	<p>電子データの管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスワードによる厳格な運用管理。</li> <li>・業務用パソコン,外付けメモリの外部持出しの禁止。</li> <li>・個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。</li> <li>・システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。</li> </ul>
環境保護の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ減量対策 HP,パンフレット等でPRし、ゴミ減量化に努めます。</li> <li>・リサイクル対策 キャンプ場内で発生したゴミは、分別し、月14回法令等遵守し計画的に運搬処理します。</li> <li>・省エネ対策 管理棟,つどい棟周辺に、夏季は緑陰樹(グリーンカーテン)を設け、外気温低下時は薪ストーブによって暖をとります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ減量対策 スタッフへの啓蒙活動を実施しました。</li> <li>・リサイクル対策 キャンプ場内で発生したゴミは、分別し、法令等遵守し計画的に運搬処理しました。</li> <li>・省エネ対策 電力購入について検討し、東北電力から新電気民間事業者へ移行しました。</li> </ul>
地元経済振興及び雇用確保の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協,地元農家,浜茶屋組合,商店街,観光協会とタイアップしたコミュニティビジネスの場づくり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元漁協との協働は継続実施で好評を得ています。</li> <li>・わんぱくの森管理棟を拠点に南浜コミュニティとのCBの活動を継続しました。ニセアカシアのコースターづくり、海辺の森の実生の松でつくるミニ盆栽や門松にチャレンジしました。</li> </ul>